

「研究成果報告書」 科研費電子申請システム提出時チェックリスト

このチェックリストは科研費電子申請システムにて「研究成果報告書」等の提出にあたり、特にご確認いただきたい点をまとめたものです。
※本チェックリストと併せて科研費ハンドブック(研究機関用)または本会HP掲載の「作成上の注意」もご覧ください

1.研究成果報告書提出予定研究課題一覧(科研費電子申請システムにて確認)

チェック	項目	チェックの観点
	備考欄	現状(3)「研究経過報告書」を提出する研究課題である。」が選択されている。このままでは研究者が作成できないため削除が必要。

選択	課題番号	研究種目	版	学振受付期限	申請者名	部局名	研究者番号	研究課題名	作成日	部局提出日	所属研究機関提出日	研究成果報告書確認	処理状況	備考
			0版	2022年6月30日									未作成	(3) 修正 削除

「削除」ボタンにて備考の削除を行う

2.研究成果報告書(様式C-19、F-19-1、Z-19)

チェック	項目	チェックの観点	よくある間違いの例
	ページ	白紙のページがないか。	白紙ページが含まれている。
	研究成果の概要・本文	文字化けが発生していないか。	「&#****(*は数字)」となって表示されている。 ※JIS第1・第2基準以外の文字が使用されている可能性
	2ページ目冒頭	2ページ目の冒頭に、緑がけ部分(現在はシステム入力にて作成し1ページ目に表示されない)が貼付されていないか。	システム上でアップロードする様式(2ページ目以降)が旧様式を使用している(旧様式は緑がけ部分から始まる)。様式はHPから取得可能。
	様式	研究者にて改変等行っていないか。	システム上でアップロードする様式(2ページ目以降)が二段組み等、別様式になっている。システム上でアップロードする様式が1ページのみ、または5ページ以上になっている。 項目番号1.~4.以外に項目が追加されている。また、項目名が変更されている。
	様式	「○以下の留意事項の内容を十分に確認し、作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○」という留意事項を記載したテキストボックスを削除しているか。	当該テキストボックスを残したまま作成されている。
	フォント	所定(原則10ポイント明朝体)のフォントで作成されているか。	特殊なフォントや色文字を使用している。不自然に大きい文字で作成されている。
	余白・行間	不自然な余白設定・改行が行われていないか。	作成時に余白や行間の設定変更が行われている。項目と項目の間の改行が不自然に多い。
	本文	日本語で作成されているか。	英文や他言語にて作成されている。
	本文	図がある場合は、正常に貼り付けられているか。	図が欠けている、文章に重なっている、不鮮明である。
	本文	研究組織(研究分担者・研究協力者)の項目が正しく記載されているか。 研究分担者の所属研究機関名、部局名及び職名は、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属研究機関、部局名、職名となっているか。(研究期間の途中で削除を承認された場合は、削除の事実発生年月日時点)	「所属研究機関名」欄に所属研究機関名が、「部局名」欄に部局名が、「職名」欄に職名が正しく記載されていない。 研究分担者の所属研究機関名が、研究期間終了時点で提出した実績報告書と同一の所属機関名となっていない。